

# 幸せに生きるための マインド論

著者 としぞー

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

このレポートの著作権は株式会社TotalLeadingに属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段をおいても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

### 【その他】

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、

不正確な情報等がありましても、著者は一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても

著者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

### 【推奨環境】

このレポートに記載されているURLはクリックできます。

できない場合には最新のAdobeReaderを下記のページよりダウンロードしてください。

(無料) <http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

## 目次

■はじめに → P5

■僕らの世界はどうなってしまうのか。 → P8

### ■お金に関するマインド

- ・貨幣経済の呪縛 -----→ P16
- ・お金とは信用の対価である。 -----→ P20
- ・お金はツールである。 -----→ P25
- ・幸せはお金で買えるか。 -----→ P31
- ・お金を求めないようにしてほしい -----→ P37

### ■仕事に関するマインド

- ・人間は仕事なしでは生きられない？ ----→ P40
- ・仕事が自分自身を成長させる一番の薬 --→ P46
- ・仕事を通して素敵なマインドを身に付ける → P53

### ■人生に関するマインド

- ・人生の意味って何だろう -----→ P56
- ・将来のことを考えるべきか -----→ P61
- ・誰のために生きていくのか -----→ P65

### ■投資に関するマインド

- ・ほとんどのことは投資理論で説明できる --→ P67
- ・投資感覚を身に付ける方法 --→ P77
- ・期待値を計算できるようになるには --→ P80

## ■人間関係に関するマインド

- ・ 人間関係は整理するもの? -----→ **P84**
- ・ 人間関係を良好に保つためには -----→ **P89**
- ・ 他人との付き合い方 -----→ **P98**

## ■マインドに関するマインド

- ・ マインドをどう身に付けるか -----→ **P101**
- ・ マインドはまねるものではない -----→ **P104**

## ■はじめに

この度は本書をご購入いただきまして、  
まことにありがとうございます。

本書では、ビジネスをもっと快適に、人間関係をもっと快適に、  
**最終的には人生をもっと快適に。**

そのために必要となる『考え方』、使い古された言葉で言えば  
『マインド』について解説していきます。

自己紹介などは無駄なので省きますが、  
僕自身が起業して法人を持って、**述べ数百人の起業志向の方と  
お話しした経験**を元に構成しています。

本編で詳しく触れますが、幸せになるために必要なのは、  
お金でも人間関係でもテクニックでもなく、マインドです。

それがしっかりと固まっていれば、様々な状況下でも適応できますし、  
常に快適な人生を歩んでゆけます。

しかし、それと同時に、そのマインドを身に付けることは  
生半可なことではありません。

正直に言うと、この書籍を読んでいたからといって  
人生が180度変わるということはないでしょう。

ただ、1度でも変わってもらえればいいです。

たった少しの気づきで、だんだんと  
人生を良いものにしていくことができます。

そんな、手助けになるようなたくさんのヒントを、  
本書に散りばめております。

ですから、一度だけではなく、ぜひ何度も何度も読み返してください。

今日読んだら、一年後にも読み返してみてください。

**即効性はないけれど、ジワジワとボディブローのように  
効き続ける内容です。**

24時間、味がなくならないガムとかが開発されていますが、  
本書は恐らく数年は味が続くようになっています。

せっかくご購入いただけましたので、  
ぜひ、長い期間、役に立ててください。

最後に一つ補足ですが、  
ここまでもこのPDFのことを  
『本書』とか『書籍』と言った表現で書いています。

『教材』と言っても良いのですが、

どうしてもこのぐらいのボリュームの商品を  
安価でお届けしたかったので、価格的にも『書籍』  
という位置付けで作りました。

僕のホームグラウンドは、ブログでありメルマガでもありますので、  
形式は横書きを採用しました。

どうぞ、メルマガを読むような感じで  
最後までお付き合いいただければと思います。

それでは、本編スタートです。

**あなたがより良い人生を生きていけるように心から願っております！**

## ■僕らの世界はどうなってしまうのか。

税金は知らぬ間に毎年上がり続け、  
なのに給料は変わらず。

年金を貰えるかも分からないのに、  
負担額はどんどん増えていく。

企業はリストラを断行し、  
安い労働力を求めて日本人を無視している。

テクノロジーの発達により、  
人間よりも安価で正確な仕事が機械によって  
できるようになってしまった。

考えれば考えるほど、  
**「僕らの未来はどうなってしまうのだろう」**  
と不安になってきます。

真実はどこにあるのか。

こういう問題に答えはありませんが、  
近似値を予想することは難しくありません。

『個人のビジネス』にフォーカスをしつつ、  
これからの世の中がどうなっていくのか。  
また、それが自分たちにどう影響するのかを考えていきましょう。



マインドの内容編はそれを理解してから始めるとしましょう。

**まず、雇用の形態が大きく変わります。**

これはほぼ100%そうなるでしょう。

今の何倍もビジネスのスピードが速くなります。  
ネットワークが強固になり、より情報が高速で  
移動するようになり、物理的な人と人の距離もなくなり、  
提供側と被提供側の距離も短くなり。

**フットワークの重い企業は必然的に減っていきます。**

その状況になれば、当然生き残りをかけて、  
スピードに対応できる企業の形がトレンドになります。

そのトレンドとはどういうものか。

答えは一つ

**『極力社員を雇わない』**

という方法です。

これにより、一つのプロジェクトに対する  
フットワークが恐ろしく軽くなります。

極端な話、技術系の業務は全て外注や  
契約社員で事足りてしまうのです。

社員として必要なのは『ブレーン』になり得る人間です。  
つまり、技術ではなく、『創造力』『カリスマ性』などの

無形の能力を持った人のみが社員として大事に囲われ、  
後の人間は取り替えがきく、代用品に成り下がってしまいます。

そうすると、重宝される能力の保持者と、  
そうでない人の格差がどんどん大きくなります。

海外からの労働力に賃金が合わせられ、今の半分、  
もしかしたらそれ以上に少ない賃金で働かなくては  
ならなくなる可能性もあります。

今でさえ、生涯にかかる費用を26歳から60歳まで  
働いても稼げないと言われているのに、さらに賃金が減るのです。

残念ながら、誤差はあれども、この現象は必ず発生します。

ダメージを受けるのは雇われている側だけではありません。

雇う側、つまり企業も相当なダメージを被ります。

これからの世の中は、様々なインフラの完備により、  
個人が活躍しやすい時代になります。

それによって、雇われるという常識から、  
『委託される』という常識が広がっていきます。

つまり、多くの社員だった人が、その後どうなるかと言うと、

**・そのまま雇われ続けて、超低賃金で働くことになる**

**・個人で独立し、外注先として企業から仕事をとってくる**

大まかに分けると、この二つに分岐していきます。

ことビジネスで考えると、完全なゼロサムゲームですので、前述のように個人で収入を得ることが当たり前になると、その市場で動くお金が一気に増えます。

では、そのお金はもともとどこにあったものなのか。

そうです。企業が売上や利益として占めていた部分が個人に還元されるわけです。

その部分が個人に流れることによって必然的に企業の規模は縮小傾向になります。

今よりも中小企業が多くなり、大手と呼ばれる企業は数える程になります。

それこそ、GoogleやAmazon、Appleなど、超超大手企業とその他大勢。という構図になる可能性が高いのです。

想像がたいかもしれませんが、9割以上の確率でそうなるでしょうし、実は既に『ある業界』では似たような現象が起こっています。

**ある業界とは『放送業界』です。**

30年前に『映像は何を利用して使っていますか？』と道ゆく人に質問したら、ほとんどの人が『テレビ』と答えたと思います。

では、現在はどうでしょう？

本当にほとんどの人がテレビを見ているのでしょうか？

ある人はパソコンで映像を閲覧し、  
またはスマホで見ている人も少なくないでしょう。

電波の発信源に関してもそうです。

昔は、民放と国営放送ぐらいしかメディアはありませんでした。

しかし現在では、YouTubeやニコニコ動画、  
Ustreamなど、様々な放送元の媒体が生まれています。

限られた権限を持つ人間だけが情報の発信を  
牛耳っていた時代は終わり、個人が自由にメディアとなり、  
受け取り側も自由に情報の選択ができるようになりました。

**『多様化』というやつですね。**

どうですか？ビジネスの世界の今後の予測と  
非常に近い現象だと思いませんか？

一極集中していたリソースが多様化により  
均等化されていくのです。

だから、企業は売上を落とすし、  
テレビは視聴率が悪くなるのです。

このような流れはネットワークを発達させようと人間が  
努力しているうちは絶対に変えることができません。  
織り込み済みの確定事項です。

前置きが長くなりましたが、核心に触れていきましょう。

これから、大きなうねりの中に巻き込まれていくであろう僕らは、  
どのようにして、自分を守っていかないといけないのか。

そうです。『意識的に』自分を守ろうとしなければ、  
いつの間にかうねりの中に巻き込まれて、  
あっという間に全ての自由を奪われてしまいます。

それはとても難しいことですが、  
理論としては非常にシンプルです。  
どこにポジションを置くかによって、  
たった二つの選択肢があるだけです。

一つ目は

**『格差を受け入れて、それでも人生を豊かに  
生きていく術を身に付ける方法』**

現状をしっかりと理解し、限られたリソースの中で、  
最大限に幸福を感じられるような自分になることです。

つまり、低収入でも幸せになれる方法を模索したり、  
低収入であることを不幸に思わないマインドセットを身に付けたり。  
それによって、内面から人生を快適にしていく方法です。

二つ目は

## 『格差社会の上位層を目指し、努力する方法』

これは見て分かるとおり、起業やスキルアップにより、格差社会の上位にポジションをとる方法です。

一つ目の方法が内的な要因で幸福度を上げていくのに対して、二つ目の方法は外的要因を変えることによって、人生を豊かにしていこう。という考え方です。

大まかに言えば、対応策は上記二つに分類されます。

どちらかに傾注して、努力をしなければ、これからの世の中を快適に過ごすのは、もしかすれば難しいかもしれません。

普通に考えれば、二つ目の方法、極端に言うと『お金持ちになる』方が良いに決まってるように思えますが、難しいのは、必ずしもそうでもないってことなんですよね。

競争の先には、何もありません。

他人を蹴落としても、残るのは幸せではありません。

少し、長くなりましたので結論を言うと、

どちらの方法を取るにしても、絶対に持っていなければいけないものがあります。

**それが『マインド』です。**

はっきり言うと、それさえ完成されていれば、

100%人生は豊かになります。

これが、たくさんの人を教えてきて、数え切れないほどの人生、仕事の相談に乗っている中でたどり着いた僕の答えです。

そんな、これからの時代になくてはならないマインドを6つのカテゴリーに分けてお届けしていきます。

最初に断ってきますと、今まで書いた今後の社会の予想も、これから書く様々なマインドに関する話も、全て僕の独断で考えたものです。

なので、信じるか信じないかはあなた次第。

ですが、僕は起業してからずっと、  
**『個人が幸せになるにはどうしたら良いんだろう』**  
と毎日考え続けてきました。

多分、僕ほどそれについて考えている人はそういません。  
しかも、それに見合うだけの人数の方のお話も聞いてきました。  
ですので、内容には自信がありますし、  
相当な覚悟を持って書く内容です。

ぜひ、あなたの人生を1度でも変えるきっかけにしてください。  
そうならば、僕は本当に嬉しいです。

## ■ お金に関するマインド

・ 貨幣経済の呪縛

お金についてのマインドを解説する前に  
まずは、僕たちがどのような形で  
お金と関わっているのかを考える必要があります。

それを知ることにより、お金というものの  
本質が浮き彫りになり、マインドの浸透がすんなりいきます。  
ぜひ、一緒に考えてみてください。

**今の世の中、生まれてから死ぬまで、お金と関わらずに  
暮らして行く人は、ほとんどいません。**

何らかの形でお金と人生というものは  
強烈にリンクしていて、  
僕たちが抗えない深さでお金に人生をコントロールされています。

もともと、人間にはお金という概念はなく  
物と物の取引で人間関係を形成していました。  
この辺りは後ほど詳しく説明しますが  
『貨幣』というものはなく、物理的に価値のあるもの、  
例えば家畜や食物、衣類などを物々交換して  
流通を起こしていたわけです。

そのうち、貨幣という概念が浸透し  
金貨や銀貨でのやり取りが行われるようになります。



金や銀には、それ自体に価値があるように思われますが  
その値段を決めているのも人間なので、  
この時点で『信用を交換する』という作業は  
始まっていたのだと思われます。

さらに時はすすみ、もはや金銀ではなく『紙』を  
使用してやり取りが行われるようになります。  
つまりは『紙幣』です。

ここにきてさらにお金の価値は信用によるところが  
大きくなりました。

金や銀であれば、まだ価値が想像できたものの  
紙となると信用がなければ全くのゴミになります。

日本と国交がない国に、いくら日本円を持って行っても  
パン一つさえ買うことができないのです。

これは、その国において日本に対する信用が  
存在しないため、貨幣の意味をなさないからです。

このように、厳密に言うと僕らはともすれば  
価値のないものを価値があると判断して  
経済を成り立たせているのです。

**恐ろしいことに、そんなもののために  
犯罪が起き、戦争が起きるのです。**

もともと、お金の仕組みは人間が決めたルールなのに  
そのルールが強烈すぎて、自分たちを自ら苦しめています。

それは個人の小さな世界でも全く同じです。

**生まれてから死ぬまで、お金の影響を受けます。**

小さい頃は自分の家が貧乏で他人の家を羨ましく思ったり  
学生になると将来のお金のために必死で勉強をし  
社会人になると自分や家族の将来のために命を  
すり減らして毎日毎日働き、  
人生のうち一度は何かしらのお金のトラブルに巻き込まれ  
そして持っているお金に見合った老後の暮らしをして  
死んでいきます。

お金があることによって「得している人」と「苦勞している人」の  
割合を調査したら圧倒的に「苦勞している人」の方が  
多いのではないのでしょうか。

ですが、先ほども書いたとおり

人間の作ったこの貨幣経済の呪縛は強力で、  
簡単に覆せるものではありません。

同時にその洗脳も強力で、間違ってもそこから抜け出すことはできません。

では、このような状況の中で、僕たちはどのように  
うまく立ち回っていけばよいのでしょうか？

固定されたルールから外れることができないのであれば  
そこから抜け出すことは考えずに、  
うまく付き合っていくことを考えるべきです。

つまり、お金に対する理解を深めて  
それに対する価値観を変えていく意外に  
お金の呪縛から解き放たれる方法はありません。

逆に、しっかりとそこを理解すれば  
あらゆることが無意味であり、  
そして無意味だと思っていたことが非常に重要だったことに  
気付くでしょう。  
これはシンプルなことなのですが、超難解な問題でもあります。

しかし、理論上はお金に対する価値観をシフトできれば  
人生の幸福度は何倍にもなることは簡単に想像できます。

ということで、この章ではお金に対する価値観を  
見直すための『3つのポイント』について  
解説していきます。

・ お金とは信用の対価である。

まずはお金の本質に関するマインドです。

先ほども書きましたが、**お金がお金たる所以は『信用』にあります。**

ドルやユーロや日本円が、他の国に比べて価値が高いとされるのは、発行元の信用が非常に高いからです。

ネットマネーの価値が低いのは発行元の信用が低いからです。当たり前ですが日本という国が消滅すれば円は全くの価値をなくします。

戦争が起き、外国にとって日本が敵国になれば世界で円を使用することが困難になるでしょう。

さらに今は通貨を全世界で一元管理していますので為替という形で、刻一刻と貨幣の価値が変化しています。

僕たちはお金の信用を信じて、お金を所持しているのです。

**現状の世の中の理論やルールは、すべてその上に成り立っています。**

例えば『ツケ』というものがあります。居酒屋に行ったときに、そのときには支払わず「今度払うよ」という約束を取り付けて支払いを後に回すとします。

初めて行く居酒屋でそれが許されるでしょうか？  
常連の店だからこそ、ツケが成立するんですよね。

じゃあ、初めて行く居酒屋と常連の居酒屋では  
なにが違うのか。  
これがまさに『信用』の差です。

たまに、全く収入がないのに、毎日飲み歩いていて  
なぜか良いところに暮らしている人を見ることがあります。

飲み代は奢ってもらい、家賃もだれかに負担してもらっている。  
そんな生活をしている人が実際に存在します。

ただ、飲み会にその人を呼ぶと、始めから終わりまで  
大爆笑の渦で、場が最高に盛り上がります。

その人はそういう技術の対価として  
諸々の支出を色んな人に出して貰っているのです。

まさに『信用』というお金の根本を使って  
お金を経由しないで人生を生きているということになります。

僕はそういう人を見るたびに、  
「お金の根本を本当に理解しているのは  
こういう人たちではないのか」  
と感じます。

そもそも、僕たちがお金を追いかける目的は  
それを使って楽しい人生を送りたいからであって  
間違えてもお金を貯めたいからではありません。

ということは目的が達成されるのであれば  
お金を持っている必要は一切ないのです。

今あなたが会社に勤めていて、月に30万円貰っているのであれば  
「自分には30万円分の信用がある」  
とってください。

起業していて月に50万円稼いでいるのであれば  
「社会から50万円分の信用を得ている」  
とってください。

面白いもので、信用を地道に上げていけば  
その分得ることのできるお金も増えていきます。

**アルバイトより社員に手厚い待遇を与えるのは  
社員の方が信用できるからです。**

**社員より役員に大きな報酬を与えるのは  
役員の方が信用できるからです。**

このような信用の中には人間性以外に、  
その人のスキルや人脈、実績なども考慮されます。

このように信用の上をお金が動いているのです。

世の中を注意して見てみてください。  
その流れでお金は動いていますので。

**『信用』が『価値』になり、『価値』が『お金』として変化します。**

**本当に大事なものは『お金』ではなく『信用』なのです。**

宝くじの高額当選者の95%は、3年以内に  
当選する前の貯金額より貯金が少なくなると言われています。

これは顕著に『信用』の原理が見える現象だと思います。  
得たお金ほどの信用を高額当選者が持ち合わせていないから  
当然のようにお金を維持することができません。

僕たちが本当に追うべきなのは『お金』ではなく『信用』なんです。  
高額当選して貯金額を減らさなかった5%の人たちは  
当選金を『信用』のためにうまく使ったのでしょう。

恐らく、その5%の人たちは貯金額を減らさなかったところか

当選した金額以上のお金を得ていることでしょう。

一つ目のポイントです。

『お金』とは『信用』の対価として発生するものである。

『お金』の呪縛から解き放たれることは難しいが

価値観をシフトすることによって、お金をコントロールすることはできる。



・ お金はツールである。

先ほどのお金の根本の話は一旦保留するとして  
ではお金の使い方や捉え方について考えてみましょう。

何度も言いますが、お金を持っているだけでは  
何の意味もありません。

お金は使うことで初めて価値を生み出します。  
厳密に言うと、使わなくても価値を生むのですが  
本質とはかけ離れています。

まずはそこから解説しましょう。

使わなくても効果を発揮するお金の効用とは  
『安心』です。

貯金がないのと、貯金が500万円ある状態では  
圧倒的に後者の方が安心できますよね。

状況なんて関係なく考えると、当たり前です。

急に病気になったらどうしよう。  
仕事がなくなったらどうしよう。

リスクを挙げていくと、貯金がないと

不安でしょうがないですよ。  
しかし、結論から言うと、これは間違いです。

例えば、貯金0の人は500万円を  
色んなところに投資しているかもしれません。

貯金500万円の方はただ単に500万円を  
持っているだけかもしれません。

この場合は、圧倒的に前者の方が安全です。

一つ目のポイントで解説したとおり  
お金は信用です。

例えば円の価値が急に下がることもあるのです。

その場合は色んなところに投資をしている  
人の方がダメージが圧倒的に少ないわけです。

理論上は、お金を現金で持っている瞬間が  
一番リスクを内包していることになります。

ただ、ただですよ。理論と現実は違います。  
理想論では人間を語ることはできません。

前述したとおり、お金の呪縛には抗えないので

お金をお金として持っているリスクが理論上あるとしてもそれを理解して行動できる人はほとんどいません。ほとんどいないということは、理解できないということです。理解できても行動はできないということもあります。

だから、お金を持っている安心感というものはまずなくなることはなく、なくなることはないからその『安心感』は絶対のものです。逆にそう考えると『安心感』を得るためにお金をあえて使わない。という選択をしていることになり、リスクのあるところにあえてお金を置くという一つの『お金の使い方』をしていると解釈することができます。

なので、この場合もお金を使っているのと同じことなんですよ。

それを前提に考えると一番よいのは  
**『最低限の安心を得られるお金を手元に持っておき  
残りのお金はできるだけ投資する』**  
というのが最善のように思えます。

こういう話をすると貯金の話に絶対にぶつかるのでまずその要素をつぶしておきました。

貯金も『お金を使っている』ということです。

その上で、お金はツールだということを考えていきましょう。

お金は何のためにあるのかというと  
これは完全に『生きていくため』です。

**もっというと『幸せに生きていくため』ですよ。**

これ以外の目的があるとは思えません。  
あったら逆に教えていただきたいです。

幸せに行きっていくためには、お金が必要であることが多いです。  
ですので、お金を稼ぐ必要があります。

もう少し抽象度を下げた話をすると  
幸せとまではいかなくとも自分や家族を守るために  
最低限のお金は必要です。

日本の場合は社会保障がしっかりしているので  
ご飯が食べられなくなることはないのですが  
収入がない場合は、非常に質素な生活を求められます。

多く的人是それが嫌だから一生懸命仕事をします。  
一部の人自身で自分でお金稼ぎをしようとします。

しかし問題はここからです。

今までの理論を含めて考えると  
最低限のお金を持っていれば  
それ以上のお金を追い求める必要はない。

ということになりますよね。

しかし、現実はそうではありません。

非常に高収入のコミュニティの中でも

「あの人より自分の方が収入が低い」

とか

「あの人は収入が高いからすごい」

などの訳の分からない理論が成り立っているのです。

それに呼応するようにさらにお金を稼ぎたいと思い、  
多額の投資をして、失敗したりしているのです。

もちろん、高級外車や高価な時計が欲しい。

という目的があってお金を膨大に稼ぎたいならよいのですが

「お金持ちになりたい」という欲望は間違っています。

いくらお金持ちになってもそれ以上のお金持ちがいますから  
いつまでもその欲望は消えません。

お金はツールなのに、そのツールをたくさん集めることに  
ツールを使っている。という意味の分からないサイクルに  
陥ってしまうことが良くあります。

お金稼ぎとは、本来目的が先にあるはずです。

その目的がないままにお金稼ぎをする人が非常に多いのですが、はっきり言って絶対にどこかで混乱します。

**「自分は何をやっていたのだろう」と。**

安心感の持てる最低限の貯金と暮らしていける最低限の収入。

これ以上のお金には必ず目的を求めてください。そうでないと、不幸せになります。

この部分って、本当に根が深ーくまで張った難しい部分なので、一度に理解はできないと思います。

ですが、95%以上正しいので、心をフラットにして理解してみようとしてください。

二つ目のポイントです。

**お金は目的を達成するためのツールである。  
お金を目的にすると不幸せになる可能性が高いので  
必要以上のお金稼ぎには必ず目的を内包させるようにしよう。**

・ 幸せはお金で買えるか。

**今や世の中のものは、ほとんどお金で買えるようになりました。**

あえて『今や』とつけたのは、昔はお金で買えないものも多かったからです。

いくつか例を挙げて考えてみましょう。

まずは遊園地の話からです。

人気の遊園地になると、一つの乗り物に乗るのに何時間も待つことがあります。僕は行列が嫌いなので、そういうアトラクションは全部スルーしてしまうのですが、それでも行列がなくなることはなさそうです。

これはここ10年ぐらいの話ですが、お金をいくら払うことによってこの行列に並ばずに、一番先頭に行けるサービスをはじめる遊園地が増えているそうです。

良いか悪いかは置いておいて、行列に並ぶ時間をお金で買うことが可能になったのです。

夢を販売するはずの遊園地で、非常にシビアな取引がされていると考えると、ちょっと怖いです。

また、僕が数年前に吉祥寺に住んでいたとき、  
超人気の羊羹屋さんがありました。  
確か朝9時ぐらいにオープンなんですが  
名物の羊羹は2時間もしないうちに売り切れになります。

どうしても買いたい人が多いので、  
開店前から長蛇の列ができます。

なんと、一番前の人は前の日から並びます。

面白いのはここからです。  
実はそんな長い時間並んでいる人は  
実際にその羊羹を買いません。

買いたい人に雇われたホームレスなどが  
お金をもらって前の日から並んでいるのです。

挙げ句の果てには、そのホームレスを  
斡旋するブローカーが現れる始末です。

これも行列に並ぶ手間ひまをお金で買っていることになります。

昔の人はその辺りに矜持（プライド）を持っていて  
そういうようなお金の使い方を嫌ったはずです。

安い量販店があることは知っていても  
近所付き合いのある個人店で商品を買ったり  
小銭稼ぎのためにプライドを捨てることは  
なかったと聞きます。

最近になって、生活自体は豊かになっているけど  
幸せを感じる度合いは減っているという話を



良く耳にしますが、  
こういうところにも原因の一端があるのかもしれませんが。  
原因は、はっきりとしています。

『市場経済』という言葉があります。  
厳密に説明すると長くなりますので  
ざっくりと説明をすると、

**格差を否定せず、  
競争をあえて起こし、  
それによって経済を発展させる考え方です。**

市場経済において、お金は絶対のポジションを持っています。  
理論上は市場経済上のトラブルはすべてお金で  
解決することができます。

先進国が発端となり、今やほとんどの国が  
その理論のもと、経済を発展させています。

市場経済の考えは『ビジネス』の中でのみ  
使用されてきました。

が、ビジネスは人々の生活に密接に関係しており  
境界線を引くことが難しいのです。

例えば、高速道路もそうです。

下道でも目的地には到着しますが  
お金を払えばもっと早く目的地に着くことができます。

このシステムによって明らかに経済は発展しました。  
しかし、同時に生活のリズムも変わりました。

この境界線がどんどん生活側に寄ってきているのです。  
それによって市場経済の特徴である  
『お金で解決できる』ことが多くなってきました。

ここで、本題です。

### 『お金で幸せが変えるのか』

この辺りの調査が進んでいるのは、アメリカです。  
アメリカでは以下のような調査が行われています。

小学生にどうやったら読書をしてもらえるのか。  
これに悩んでいる教育者がはじめたものですが、  
1冊本を読むたびに、子供に5ドルを報酬として  
支払う。というテストです。

圧倒的にアメリカっぽいやり方ですね。

生活の中でも『教育』や『医療』、『人付き合い』は  
お金で解決するべきではない要素です。

この調査の結果、どのようになったか気になりませんか？

子供が本を読むようになったのか。

それとも読むようになったがお金が発生しないと  
読まなくなってしまったか。

結果は・・・

『どんどん薄い本を読むようになった』

らしいです（笑）

目的は子供に自発的に本を読んで学習してもらおうというものだったのに  
いつの間にか、子供がお金稼ぎをするようになってしまったということです。

このように、人間関係や教育の分野では  
お金で解決できない問題がたくさん存在します。

市場経済が生活の中に浸食してきたことによって  
幸せを感じる事が難しくなっていることから  
それは明らかです。

そして、人間が幸せを感じる時に必ず必要なのが

## 『他人』

です。

他人がいなければ、自分と対比するものがなくなってしまいますので感情が動くことがなくなっていきます。

幸せを感じるためには、人付き合いが必要ということです。  
人付き合いは、お金で買えないということは先ほど書きました。

ということは、『幸せをお金で買うことはできない』  
これは、かなり確実な理論かと思います。

三つ目のポイントです。

**お金があれば、あらゆるものを買うことができるが  
人間にとって一番大事なものは買うことができない。**

・ お金を求めないようにしてほしい

『お金は信用の対価である』

『お金はツールである』

『幸せはお金で買えない』

以上の3点について解説しました。

このことから、絶対的に言えるのは  
お金を求めても幸せになれない。

ということです。

変ですよ。

多くの人は今よりももっと幸せな生活を  
手にするために日々頑張っています。

ですが、いつの間にか

『お金を持っていること』が幸せかのように  
すり替えられてしまい、お金に縛られた  
生活を送るハメになります。

心の奥では、それをしても幸せになれないことが  
分かっているのに。です。

とは言っても、一番最初に書いたとおり  
それを理解して行動に移すことは至難の業です。

最低限のお金はどうしても必要だし  
そのために時間を犠牲にして働かなくてはいけない。

独立して稼いでいる人だってそうです。

毎年会社を成長させないと税金もくるし  
途中で辞めるわけにはいかない。  
周りはずいぶん稼いでいくから  
取り残されたくない。

様々な状況があり、どんな状況の中でも  
『お金に対する恐怖』は拭いきれません。

僕自身も、有名企業の役員クラスの収入がありますが、  
お金に対しては恐怖があります。

ですが、そんなときに今回のマインドを思い出してほしいんです。

本当にもっと稼ぐ必要があるのか。  
本当にもっと稼がないと暮らしていけないのか。  
本当にもっと稼がないと幸せになれないのか。

自分の心に聞いてみると、  
あらゆることをお金で解決しようとしていた自分に  
気付くはずです。

同時に、それ以外の方法もたくさんあって  
いろんな選択肢が与えられていることにも  
気付けるはずです。

お金についてのマインドは以上です。

ここを少しでも理解していると、価値観が変わります。  
最後にこれ言っちゃうと本末転倒なんですが  
**お金に対してしっかり理解ができていると、稼げます。**

## ■仕事に関するマインド

- ・人間は仕事なしでは生きられない？

生活に掛かるコストがだんだん高くなり  
それに伴って稼がなくてはいけない収入が  
どんどん高くなり、当然仕事にかける労力や時間は  
毎年毎年、増加傾向にあります。

本来は気持ち良く暮らすために、  
家族を守るために仕事をしているはずが、  
いつの間にか仕事のために仕事をしているような、  
そんな矛盾が生じてしまいます。

一昔前は、もう少しみんなに余裕があったはずが、  
ここ数十年の間に、仕事と人生を取り巻く環境が  
大きく変わってしまいました。

前の章で書いたように、  
これは経済を発展させるために  
競争を受容する理論でもって  
世界が回っているからです。

昔以上に、貧富の差は広がり、  
雇われる側の地位がどんどん  
低くなってしまっています。



そんな状態ですから、  
まず、根本的な条件として、  
人間は仕事なしでは生きていけないわけです。

さらに言えば、仮に仕事しなくても生きていける。  
そんな世の中が成立しているとしても、  
人間は仕事なしでは生きていけない可能性が  
高いと推測されます。

これは、僕自身の経験になりますが、  
高校卒業後、職人の世界に就職をし、  
3年ほど働いたところで限界を迎え、  
仕事を辞めました。

その後、サラリーマンとして就職するまでに  
3カ月ほどの空白期間があったのですが、  
その間のことは今でも鮮明に覚えています。

貯金を切り崩しながら生活し、  
お金が少なくなってくると、日払いのバイトをする。  
月に20日以上は何もしていない日があり、  
生活は昼夜逆転し。

こんなことを3カ月も続けていました。  
もともと、それまでの3年間で普通の人の  
3倍ぐらい働いていましたので、  
ダラダラできる生活は最初は快適でした。

しかし、2週間ほどでそれに慣れてしまい、  
何を目標に生きていけばいいのか。  
何が楽しくて毎日生きているのか。と、

おかしい精神状況になったのを強烈に覚えています。

仕事がなかったことにより、  
何かを目標にしたり、  
何かをチャレンジしたりということがなくなり、  
それが感動のない毎日を形成し、  
**『意味のない毎日』という最悪の環境を  
作り出してしまいました。**

宝くじに関するアンケートで、面白いものがあります。

『もし、5億円に当選したら、仕事を辞めますか？』

というアンケートに対して、  
『辞める』と答えた人は70%にもものぼりました。

5億円と言ったら、平均生涯年収の2倍ほどですので、  
仕事を辞めようと思うのも当たり前です。

ですが、実際に宝くじに当選した人はどうだったのでしょうか。  
これも調査結果があります。

なんと、結局は8割の人が何かしらの仕事を  
続けていたということです。

これは非常に興味深い内容ですね。  
一生困らずに暮らせるお金があっても、

仕事をするということは、仕事が単にお金稼ぎのためだけに存在するとは言えない、大きな理由になるのではないのでしょうか。

このことから、仕事というものは、単に生活費を稼ぐためだけのものではなく、それ以外の『何か』を満たすための要素も持ち合わせていることが予想できます。

つまり、ネガティブ的な要素  
(稼がないと生きていけないから仕事をする)  
以外にも、ポジティブ的な要素  
(仕事をするによって得られる『何か』のために仕事をする)  
が存在し、それらを複合することによって  
人間は仕事なしでは生きられない。

という仮説が立てられますし、かなり信憑性の高い仮説だとも言えます。

では、その仮説を元に考えると、仕事というものに対しては、実はもっとじっくりと考える必要があるのではないかという疑問が滲み出してきます。

**普通の人の仕事に当てる時間は、思った以上に膨大です。**

仮に週休2日で、毎日10時間働いているとしましょう。

1カ月で働く時間は約200時間です。

毎日、8時間睡眠を取っているとすると

1カ月の活動時間は約480時間です。

この時点で**40%程度の時間を仕事に費やしていること**になります。  
本来はもっと忙しい人の方が多いでしょうし、  
通勤時間なども考慮する必要があるかと思imasので、  
少なくとも、人生の約半分は仕事をしていると考えて  
間違っていないでしょう。

であれば、

**結婚相手を決めるときのように**  
**マイホームの場所を決めるときのように**

**もっと仕事に対して、深く深く考える必要があるのではないのでしょうか。**

自分と周りを本当に守れるのか。  
仕事を通して、充足感や達成感  
は味わえるのか。

当たり前のことですが、考えなければなりません。

中には

**「そんなこと分かっちゃいるけど、  
変えたくても変えられない人間もいるんだ」**

というご意見もあると思います。

しかし、それは果たして本当でしょうか？  
仕事をさらに自分にとって良いものにするための方法はいくらでもありま  
す。

ただ実際に、そのときの状況によって選ぶことが

できない選択肢も存在します。

ただ、その選択肢をすべて知った上で、  
検討した上で『できない』と言っているのでしょうか？

そうでないのであれば、それはただの『思考停止』です。  
もっと大きな視野で『他にどんな方法があるのか？』  
ぐらいは考えられます。リスクありません。

その方法の中には、自分の意識を変えることによって、  
同じ仕事をしていても、得られる感覚や収入までもが  
変わるものもあります。

そんなヒントを、この『仕事に関するマインド』の章では  
見つけていただきたいと思います。

・仕事が自分自身を成長させる一番の薬

百聞は一見に如かず。という素晴らしい言葉があります。

100回聞くよりも1回見た方が得るものが多い。という意味合いです。

これは本当にそうで、ミュージシャンのライブなんてまさにこれですよ。

一度あの感動を味わってしまうと、なかなかそれに勝る感動を味わうことはできません。

僕がすごく思うのは、この理論は人間の成長にこそ当てはまるのではないかということです。

**100回聞くよりも、1回見ることの方が効果があるし  
100回見るよりも、1回やってみる方が効果が高いのです。**

いかにそれを繰り返せるかで、人間の成長の度合いが大きく変わりますしそれによって得をすることが非常に多いのです。

**仕事とは『経験』の連続です。**

仕事ができる人間は、一生懸命座学をやった人間ではなく一生懸命仕事を経験してきた人間です。

そういう意味では、人間的な成長の根本に『仕事』があることは容易に想像がつきます。

僕は、起業してから一気に人間的に成長できたと思っています。

仕事の的にも数多くのスキルや経験が身に付きましたし  
人間的にもたくさんのものを吸収できました。

良く言うことなんですが、  
僕は起業するまで25年生きてきたわけですが、  
起業してからの3年程度で、  
その25年の人生分、もっと言えばその2倍程度の  
成長ができたと確信しています。

これは『起業したから成長できた』ではありません。

**起業をすることにより、今まで以上に真剣に  
仕事に取り組むようになりました。**

そうでなければ、飢え死にしていまいますし  
独立という性質上、毎日成長していないと  
あつという間に置き去りにされてしまうからです。

**逆に言えば、起業する前の勤め人時代は  
『真剣に仕事をしていなかった』  
といえるのだと思います。**

もちろん、当時は会社に認められるために、  
給料をたくさんいただくために、  
一生懸命仕事をしていたことには変わりありませんが、

一生懸命と『真剣』とは微妙に違うんですね。

どうしても、勤めていると甘えがでてしまいます。

だってそうです。

頑張らなくても、給料はでるんですから。

精神力が弱い僕なので、  
存分にそこに甘えていたんだと思います。

でも、起業した後は違いました。

甘える人がいないですからね。

楽をするためには、その分頑張らなくては行けないのです。

なので、起業しないと成長できないのではなく、  
『真剣に仕事に向きあう』ことをしないと、  
なかなか現状の自分から変わることができない。  
ということです。

真剣に仕事に向き合おうと、どうなるか分かりますか？

**恐ろしいほどの『悩み』が降り注いできます。**

考えなくては行けないことが膨大にあることに気付き  
そのためにやらなくては行けないことが星の数ほどあることに



愕然とします。

**しかし、それこそが『成長の種』なのです。**

悩みがあることによって、行動につながります。

人間が行動をする動機として一番強いのが  
『今の苦痛を取り除きたい』という欲求です。

睡眠不足だから今すぐ寝たい  
お腹がすいて死にそうだからご飯を食べたい  
一人だと寂しいから飲みに行きたい  
禁断症状が辛いから覚せい剤を打ちたい

これらは『今の苦痛』を取り除きたい。  
という強い欲求によって引き起こされる感情です。

『悩み』というものは非常に大きな『苦痛』です。  
悩みが大きければ大きいほど、  
悩みが多ければ多いほど、  
人は行動を起こします。

行動を起こせば、何かしらの結果がついてきます。  
その結果にまた悩みを感じ、さらに行動します。

この繰り返しが成長です。

つまり、、、

**真剣に何かに向き合う**

↓

**悩みにぶつかる**

↓

**それを解消するために行動する**

↓

**悩みにぶつかる**

という連鎖が起きるのです。

その一番始めのきっかけが

**『真剣に何かに向き合う』**

ということなんですよ。

当然、壁に当たると痛いですが。

でも、その痛みがないと成長はできません。

成長できないといつか越えようもない

大きな壁にぶつかってしまいます。

そのときの痛みを考えたら、

ちょこちょこぶつかる壁のことなんて  
全然気にならなくなるはずです。

僕は、壁に当たることを非常に好意的に捉えています。  
何かを行動していて、今のままでは越えられない壁が現れると

「しっかり行動できてるんだなあ」

と思いますし

**「成長できるチャンスだ！！」**

とむしろポジティブに考えることができます。

こういうふうと考えられると  
さらに成長のスピードはアップします。

そして、壁を乗り越えていくたびに  
『成功体験』をしていることになります。

成功体験が積み重なれば積み重なるほど  
成長につながりますし、自信もつきます。

そうして、成功体験を積み重ねていく過程で  
立ちふさがる壁に対してのアレルギーがなくなり  
むしろそれを歓迎するような捉え方ができるようになります。

できるビジネスマンはモテます。  
(残念ながら僕はモテませんが)

それは単にお金を持っているだけではなくて  
数多くの試練を乗り越えてきたことによる  
『自信』がみなぎっていることと  
仕事や人生、人間関係に対する価値観が  
『成功体験』の積み重ねによって  
豊かになっているからに他なりません。

仕事は人生の一部であり、  
そこから抜け出すのが容易でない以上  
それにどう向き合っていくかは非常に重要です。

**悩みを受容し、困難を歓迎し、成長を招き入れる。**

そんなマインドを身に付けることこそ、  
幸せになる秘訣なのかもしれません。

・仕事を通して素敵なマインドを身に付ける

では、起業しないと仕事で成長することはできないのか。

そんなことはありません。

先ほども書いたとおり、『**真剣に仕事に向き合う**』ことで人は大きく成長をしていきます。  
ですから、勤めていてもその仕事に真剣に向き合えば当然成長することができますし、副業で何かのビジネスに向き合うことでも成長はできます。

要は、普段からそれを意識できているかどうか。

これが重要になります。

まあ、その仕事に向き合うに値するのか。  
という根本の問題もありますけどね。

そういう意味では起業をすると向き合うべき仕事を自分で選べますので真剣になりやすいというメリットはあるかもしれません。

いずれにせよ、仕事を通して人間的に成長することによりお金に対しても人間関係に対しても人生に対しても

豊かなマインドが育まれ、もっと楽しくなる。  
ということはほとんど確実なわけで、  
そのためには目の前の仕事を理解し、  
そこに力を入れていく必要があります。

そのためには、あえて困難なチャレンジをすることも大事ですし、  
失敗を恐れずに、色んなところに飛び込んでいく勇気も必要です。

その繰り返しの中で、さまざまなマインドが身に付き、  
それによって色々な決断の結果が大きく変わり、  
最終的には自分がもっと満足のできる地点まで  
進んでいくことができるんです。

まとめます。

まず、人間は仕事からは逃れられないことを理解する。  
その上で、仕事との付き合い方を考えたときに、  
もっと仕事を有効活用しなくてはいけない。  
仕事を通して成長するためには、  
仕事に対して真剣に向き合う必要がある。  
それによって大きく成長することができる。  
成長することによって感覚やマインドが変わっていき  
さらに充実した生活を送れるようになる。

ということです。

僕が、起業をするキッカケになった堀江さんの  
著書で『ゼロ』というものがあります。

これは堀江さんがライブドアを作って、その後粉飾決済で起訴され、刑務所で約3年を過ごしたその間のことを綴った作品です。

その著書の最後にすべてをまとめて彼の一番言いたい言葉が乗っていました。

『働こう』です。

あれだけ、アホみたいに働いて色んなものを見て、聞いて、感じて、その後刑務所に入った人が今一番言いたい言葉が

『働こう』

でした。

とにかく真剣に働きましょう。僕たちにそれ以外の選択肢はないように思います。

真剣に働いていれば、いつの間にか向き合ってきた仕事が大好きになっているはずですから。

## ■人生に関するマインド

- ・人生の意味って何だろう

いきなり、ハードな話題から入ります。

### 『人生の意味って何だろう』

僕は昔から、物事を考えすぎちゃう人間でしたので  
小さい頃から『人生って何だろう』とか

『死んだらどうなるんだろう』

『宇宙の周りって何があるんだろう』

などと考えまくっていました。

結論から言うと、答えがない疑問ですので  
考えても意味がないんです。

考えても答えが出ないから、暫く放置。  
で、たまにまたそれについて考えだす。

の繰り返しですね（笑）



ここらの話題を考えだすと、怖くなって  
夜も眠れなくなります。

人は白黒を決めたくなる生き物ですから  
曖昧なものには恐怖を感じるんですよね。

宗教がこれだけ発達するのも分かるような気がします。  
なにか信じられるものがあるって、それが答えを提供してくれるなら  
これほど人にとって楽なものはありませんからね。

でも、答えなんてあるはずないですよ。

でも、一つだけ確かなことがあります。

### 『どうせなら楽しんだ方がいい』

これは間違えないですよ。  
たった一度の人生ですから、楽しまないと損です。  
苦しい思いをしてそのまま死んでいって、  
誰が喜ぶのでしょうか？

もちろん、人それぞれに楽しみ方は違いますので  
一概に『楽しむこと』にも答えはありません。

自分の好きなように生きて  
好きなときに好きな場所に行って  
食べたいものを食べて、やりたいことをやって。

それが『幸せ』な人もいます。

家族が笑顔でいるのが一番の幸せで、  
そのために身を粉にして働いて、  
辛いことがあってもぐっと我慢をして、  
自分は贅沢をせずに毎日頑張る。  
子供からは邪魔者扱いをされて  
それでも子供のために毎日頑張る。

子供が結婚して、結婚式のために  
両親に向けた手紙を読んでもらって  
すごく感謝してくれていた。

それが『幸せ』な人もいます。

ビジネスでお金を稼ぐことが快感。  
そのためであれば多少のオーバーワークも  
屁とも思わない。  
一生懸命作り上げたビジネスが  
しっかりと成果を生み出したとき、  
何にも変えられないような幸福感を感じる。

そんな『幸せ』もあります。

**『幸せ』と『楽』は違います。**

**『楽すること』と『楽しいこと』も違います。**

幸せのために苦勞することも良くある話です。

でも、よく考えてみると、上記のどんなパターンでも最終的には『自分の利益』を追求していますよね。

自分がしたいことがあって、それを達成するために苦勞もするし、我慢もする。

それは十分に素敵なことですよね。

だから、答えはないし、  
答えがないなら、楽しまなければ損なんです。

自分の欲求に嘘をついて何になるんでしょうか。

きっと、それでは自分はおろか、  
周りも幸せになれないような気がします。

だから・・・

**自分に嘘をつくのは良くないです。**

自分の幸せのために、一生懸命生きることが  
周りの幸せにもつながるんだと思います。

ちょっと、壮大な話になりますが、

たまたま、太陽という恒星があって

たまたま、隕石かなんかが落ちて惑星が生まれ

たまたま、その惑星に水みたいなものがあって

たまたま、太陽との距離がちょうど良くて微生物が繁殖し

たまたま、進化の過程で人間が生まれたと。

**奇跡という言葉では片付けられないほどの奇跡の上に  
成り立って今自分がいると考えたら、  
その自分のために一生懸命生きるのが義務だと思いませんか？**

・将来のことを考えるべきか

あるところにA君とB君がいました。

この二人は友人ですが、  
人生に対する考え方が両極端です。

A君は言います。

『B、お前は将来のために今節約して頑張っているけど  
人間なんていつ死ぬか分からないんだぜ。  
我慢し続けて、お前の言う『将来』がくる前に  
おまえが死んじゃったら、何のためにそれまで  
苦しい思いをしてきたのか分からないでしょ？

オレは、そんなのいやだから今をガッツリ遊ぶよ。  
今の幸せを犠牲にして、来るかも分からない将来に  
備えるなんて、オレに言わせたらアホかと思うよ。』

B君はそれに反論します。

『君はいつもそう言うけど、そんなこと言っていると  
将来必ず後悔するよ。  
今は働ける体力があるから、遊ぶ分のお金は稼げるだろうさ。  
でも、それはいつまでも続かない。  
いつか体力の限界がくるんだ。  
それに、年金だって僕らの世代がいくら貰えるか怪しいもんだ。  
その分の蓄えをしておかないと、老後に悲惨な人生が待ってるぞ。』

どちらの理論が正しいと思いますか？

これにも答えはないですね。

A君の言うことも心情的には理解できるし  
B君は超正論を言っているように聞こえます。

ここに、もう一人の友人のC君が現れました。  
C君はこう言います。

『じゃあさ、どっちもやったら良いんじゃない？  
今を思いっきり楽しんで、同時に将来のことも考える。  
どっちも頑張れば、絶対に良いと思わない？』

典型的なA B型の意見です。

A君とB君は口を揃えてこう反論します。

**『そんなことできるわけないだろ』**

果たして、それは不可能なのでしょうか。

人間が想像できることは、必ず実現できると言われています。  
50年前に、本も家電も食品も、ボタンひとつで購入して  
自宅に届くようになる世界を想像していた人はいたでしょうか？

100年前に、地球の真裏の景色が自宅で簡単に見ることができる  
世界を想像した人はいたでしょうか？

500年前に、当時書かれた書物を、500年後の人類が  
手のひらサイズの機械で誰もが閲覧できるようになることを  
想像した人がいたでしょうか？

そのどれもを、当時想像している人がいたとしたら

**『そんなことできるわけないだろ』**

と一蹴されていたことだったと思います。

しかし、現実になっています。

そんなレベルの高い話ではありませんよね。

『今』と『将来』の両立って。

**『そんなことできるわけないだろ』**

と早々に片付けてしまうのは簡単です。

でも、それではつまらないですよ。

できないというのは言い訳に過ぎません。

将来のことをしっかりと考え、  
それによって今を犠牲にするのではなく  
同時に今を楽しむ。

**これ、チャレンジしがいのある課題だと思いませんか？**



・誰のために生きていくのか

先ほども書きましたが、  
『誰のために生きていくのか』  
この答えは間違えなく  
『自分のため』  
です。

大事な人のため？

それも、それによって自分が幸せになれるからです。

より良い社会のため？

それも、それによって自分が幸せになれるからです。

**つまりはすべて『自分のため』という動機で  
生きていくのです。**

ここで問題になるのが

**『何が本当に自分のためになるのか』  
『自分は本当はどう生きたいのか』**

です。

実はそれを把握することは非常に難しいんです。  
今、自分のためだと思ってやっていることが  
10年後には全く意味がなかったことに気付くこともあります。

自分がどう生きたいのか把握することは難しいです。  
でも、それを考えていないと一生それに  
たどり着くことはありません。

まず、

自分が何を楽しいと思うのか

何に幸せを感じるのか

何が大事だと思っているのか

これらを整理して考えると良いかもしれません。

実は全く考えもしなかった部分にヒントがあるかもしれないし  
やっぱり今の考えは間違っていなかったと思えるかもしれません。

どちらにせよ、たった一度の人生です。

自分に嘘はつかずに、しっかりと自分に向き合う。  
その上で出てきたものに対して真摯に取り組む。

**そういう人生がやっぱり最高じゃないですか？**

## ■投資に関するマインド

・ほとんどのことは投資理論で説明できる

『仕事に関するマインド』の項目で  
投資は非常に重要な能力だ。と書きました。

これは仕事だけのことではなくて、  
生きていく上でのすべてのことに  
関わってくる要素になります。

例えば、人間関係。

人付き合いにはあらゆるリソースが必要とされます。

**『時間』 『金銭』 『労力』**

こう言ってしまうと味気のないものになってしまいますが  
冷静に考えてみると事実です。

例えば、大事な人にはそれなりの『何か』を  
投資し続けているはずです。

一切その投資がなかったとしたら、  
その人は今も近くにいるでしょうか？

友達が100人いて、その人たち全員と深い付き合いをしようと思ったら、毎日誰かと交流する必要があります。

そのため、必然的に頻繁に交流を持つ友達は多くても10人ぐらいになってしまうと思います。

これは『時間』というリソースが有限なもので、均等に投資することが非常に難しいからです。

ですので『投資対象』を絞ってそこにリソースを投入していくのです。

さらに味気のない話になってきました（笑）

**しかし、世の中は確実に『投資のし合い』で成り立っています。**

無意識のレベルでそうできているんです。

そのため、投資がうまい人はビジネスで成功するだけでなく人間関係なども非常にうまくいく場合が多いのです。

例えば、後輩にご飯を奢るとしましょう。

最大限に投資効果を持たせるためには  
どのような形で投資をすると良いのでしょうか？

答えは『投資する時期』にあります。

例えば後輩の給料日が25日だったとしましょう。

26日にご飯を奢る

24日にご飯を奢る

たった2日の投資時期の違いですが、  
後輩が得る感覚は大きく違うのは想像できますよね。

給料が入ったばかりのときと、給料日前。

圧倒的に給料日前の方が『ありがたい』わけです。  
もちろんこんなことばかり考えていたら  
つまらない人間になりますが（笑）  
どちらの方が相手に『感謝』されるかという  
答えるまでもないですよ。

**生きた金と死に金。**

というやつです。

金銭だけでなく、相手が困っているときに労力を惜しまず協力してあげれば、かなりの投資効果があります。

非常に資本主義的な考え方ですが、  
実は、成功している人はこういうことを良く考えています。  
もしくは無意識でそれができているか。

稼いでいる人はこの『投資』の才能があります。  
ほぼ100%何かしらの投資能力があると考えても間違えないです。

人間関係を投資と捉えてしまうとつまらなくなります。

しかし、その感覚がない人ほど

**「あんなに良くしてやったのに裏切りやがって」**

みたいなことを言い出すんです。

投資感覚をしっかりと持っていれば、

そんな感覚になることもほとんどないはずです。

裏切られたのは投資をミスった自分のせいですからね。  
マインドを含めて、成功している人の投資能力は  
おしなべて高いと言えるでしょう。

投資というものには

### 『かけたリソースに対してのリターン』

という根本的な構造があります。

その『リターン』に対する感じ方は人それぞれですので  
それによって投資感覚が変わります。

例えば結婚をして、奥さんを養っていくと。

生活費を全部出してあげて、

- ・家事を完璧にやって欲しい

という人と

- ・そばにいてくれるだけで良い

という人がいると思います。

これは求めている『リターン』がそれぞれ違うということです。

『生活のことは心配しなくていいから  
家のことは頼むぞ』

というのと

『生活のことは心配しなくていいから  
ずっと一緒にいてください』

というのは、そもそもの投資目的が違うんですね。

その辺りを理解していれば、  
リターンが得られなかったときの対応も変わりますよね。

投資の観点で考えると、リターンが得られないということは  
『投資が足りない』か『投資の仕方が違う』かのどちらかです。

これって重要な考え方です。

どちらも原因は自分側にありますよね？  
先ほどの例で言うと、奥さんが自分の希望どおりの



行動をしてくれないときに、奥さんが悪いのではなくて

『自分が悪い』

という考え方に立つということです。

「なんでこっちは仕事しているのに、お前は何もやらないんだ！」

なんて言ってもしょうがないんですよ。

『投資が足りない』

のであれば、もっと稼いで良い暮らしを  
させてあげる必要があるのかもしれない。

『投資の仕方が違う』

のであれば、お金以外の『時間』や『労力』を  
もっと奥さんに注がないといけないのかもしれない。

こういうふうに考えると、結構うまくいくことが多いです。

それでも、どんなに考えてもうまくいかない場合。

それは『投資対象を間違えている』のかもしれない（笑）

投資が上手な人の共通点として、  
投資に対する『恐怖』が少ない。  
ということが挙げられます。

お金を何かに投資することによって  
損をするリスクもあるけど、  
得をする可能性も大いにあって、  
全体で見ると圧倒的に得をするパターンの方が多い。

こういうことをしっかりと理解しているから  
変な恐怖心がないんですよ。

**投資に慣れていない人はこれを非常に怖がります。  
怖がるからなかなか投資ができなくて、  
投資感覚が身に付かない。**

この負のサイクルにハマります。

お金をお金として手元に持っているのと  
有望な投資先に投資しているのでは  
前者の方がリスクが高いのを、  
投資感覚が優れている人は知っています。

だから、どんどん投資をしてさらに投資感覚が  
研ぎすまされていく。  
という正のサイクルが生まれます。

これってなんの違いかっていうと  
マインドの違いですね。

たったそれだけの些細な違いが  
大きな結果の差を生むんです。

さらに投資感覚が優れている人は  
コストパフォーマンスの感覚も優れています。

高級寿司屋で会食して5万円使うのは安いけど  
吉○家で1000円使うのは高い。という具合に。

このコストパフォーマンスという感覚は  
ひとそれぞれ状況によって微妙に変わります。

例えば、飛行機のファーストクラスの話です。

普通に乘ったら3万円で乗れる飛行機も  
快適さを追求したら平気で100万円かかります。

例えば、僕の場合は收入的に払えない金額ではないですが  
絶対にファーストクラスには乗りません。

なぜなら8時間ぐらい狭いところで我慢していれば約97万円の収入を得られる。と考えるからです。

どう考えても、今の仕事よりも時給が良いです（笑）

喜んでエコノミークラスに乗ってやります。

グリーン車ぐらいであれば差額がそんなになるので乗った方が快適で、効果が高そうなので乗ります。

でも、8時間で100万円とか平気で稼ぐ人が存在します。

年収億以上の方々ですね。

そう言った方々はファーストクラスに乗るでしょう。僕もそういう状況だったら乗ると思います。

これも投資対効果を考慮しての行動の違いですね。

稼いでいる人、成功している人はここが非常に優れていてブレません。

・投資感覚を身に付ける方法

では、投資感覚を身に付けるにはどうしたらいいのでしょうか。

答えは簡単です。**投資をすることです。**

投資とはお金のことだけではなく時間や労力も含めてです。

数多くの投資をした結果が、投資感覚につながります。

失敗も含めて色々な経験をしましょう。  
失敗しても痛くないような規模の投資を  
たくさんこなしましょう。

宝くじとかはダメですよ（笑）

明らかに利回りがマイナスですので。

例えば、部屋を模様替してみましよう。  
ちょっと良い家具を買ってみましよう。

そこで終わりではなくて、その結果何が変わったかを  
じっくりと考えてみましよう。

必ず何かしらの影響があるはずですよ。

その検証の繰り返しの先に成長が待っています。

僕は以前より、個人で物販ビジネスをやることを強くオススメしていますが、これは投資感覚が非常に身に付きやすいからです。

なによりも『モノ』を扱うビジネスですので分かりやすく検証が可能です。

10万円使って、12万円回収した。

なんていう単純明快な結果を目の当たりにすることができます。

基本的に、物販をやっている人は、勝手に投資感覚は身に付きます。

やっている人だったら分かると思いますが最初のうちは商品を一個仕入れるのも怖かったはずですよ。

それがしばらくすると、平気で20万円とか仕入れたりしますよね。

これは物販に慣れたのもそうですが『投資に対する恐怖がなくなった』のも大きな要因です。

それによって、物販以外への投資もスムーズにできるようになります。

そういう人をたくさん見てきました。

投資感覚がある程度身に付いたら  
広告を出してみましょう。

**広告は投資の神髄です。**

物販よりも『労力』という要素が薄くなりますので  
完全に『費用』と『効果』の天秤のもと成り立ちます。

10万円かけて、15万円回収できたら  
100万円かければ、150万円回収できます。

小さい規模でテストを繰り返し  
良い数字がでたら大きく投資をする。

広告に投資をすることが増えてきたら  
きっと投資感覚は相当なものになっているはずです。

ビジネス以外のことにもしっかりと応用できるでしょう。

・期待値を計算できるようになるには

投資には『期待値』という考えがつきものです。

期待値とは簡単に言うと

**『その行動に対して期待できるリターンの数値』**

です。

この期待値をしっかりと予測し、  
それを元に投資をしていくことが重要になります。

では、この『期待値』を予測するスキルは  
どのようにしたら身に付くのでしょうか。

細かいことを言うと期待値を算出するためには  
『統計学』という学問を使用します。

過去の統計などを分析して  
未来に起こることを予測しようという学問です。

統計学をマスターするのが一番確実なんですが  
そのためには大学院に行くレベルの  
勉強量と時間が必要になりますので  
現実的ではありません。



**その代わりに大事なのが『知識』です。**

例えば、「飛行機雲がなかなか消えない次の日は雨が降る」という言葉があります。

飛行機雲とは飛行機から排出される高温の排気ガスが上空の空気に急激に冷やされてできるアレです。

上空が湿っていればいるほど、飛行機雲は消えずにその場に残り続けます。

この上空が湿っている。という状態はそのまま低気圧や前線が近づいている。ということです。翌日雨が降る可能性が高いと言えます。

知識を持っているだけで、遥か上空の間違って触れることのない空気のことを察知し、未来に起こる出来事を予測することができます。

**このように知識によって算出できる期待値は意外とたくさんあるんですよ。**

ですからあらゆることに対して投資をしてみてもそれによる経験や知識を積み重ねていきましょう。

本もいいです。

本は他の人が時間やお金を使って経験したことを  
たった数百円で疑似体験できる優れたものです。

色んなところから知識を吸収し  
それを溜めておくことで、期待値を予測する能力は  
自然と身に付いていきます。

期待値がある程度身に付けば、投資は難しくありません。  
後は、期待できる数値より少ない投資ができれば得をしますのです。

**できるだけ少ない投資で、できるだけ大きなリターンを。**

これは投資の大原則です。

投資をするための投資感覚と  
リターンを予測する能力。

この二つが揃うと、投資が面白くなります。  
何度も言うとおりにビジネスのみならず、  
人生において色々なところで投資の能力は求められます。

そんなときに、しっかりと基礎が身に付いていれば  
どう考えても充実した人生が送れますよね。

最初はちょっと難しいかもしれません。

でも、できることからコツコツやってみましょう。

物販のビジネスをやってみても良いと思います。

まずは慣れが大事です。  
慣れてきたら少し意識を強めて  
投資について考えてみましょう。

一生もののスキルです。

**そこに時間とお金と労力を投資する価値は  
十分にあると思いますよ。**

## ■人間関係に関するマインド

- ・人間関係は整理するもの？

人は一人では生きることができません。

仕事をすれば相手の人間がいますし  
社内の人間もいます。

モノを買うにしてもそれをつくった人間がいるし  
それを流通させている人間がいます。

山奥で自給自足をするとしても、  
完全に人から切り離されることは  
不可能なのです。

**つまり、人間は生きていく中で必ず**

**『人間関係』を継続させながら、暮らしているということ。**

ということは、人間関係に対する理解を深めることと  
人間関係自体を円滑にすることは、  
生きていく上で非常に重要な要素になります。

この章ではそんな人間関係について  
解説していきます。

人間は他者がいて初めてその存在を認識される。  
という難しい哲学があります。

つまり、自分一人では存在していない存在と同義で  
他者との比較で初めてその存在が確定するという考え方です。

それほどまでに『他人』の存在は大きく、  
当然、その他人がどういう性質なのかによって  
自分自身の存在が大きく変質するとも考えられます。

あらゆる自己啓発の本には

### 『付き合う人を選びましょう』

と記されています。

ビジネス業界であれば、  
周りをしっかりと稼いでいる人で固めないと稼げないと。  
足を引っ張る人がいればいるだけ稼げないと。  
だから、人間関係をシビアに選別して、  
いらない関係は即座に断ち切りましょうと教えられます。

確かに、この理論は間違っていない。

中学、高校、大学、社会人と自分の中の世界が広がっていくと  
付き合う人に幅が出てきて、新しい価値観を経験します。

それによって、考え方だけではなく、  
性格すらも変わってしまうことは珍しくないはず。

周りが当たり前のように戦争をする空気で  
当たり前のように国のために命を落とす世界観だとしたら  
多くの人はそれが『当然』だと思うはずです。

このように、人間というのは非常に周りの環境に  
影響されやすい生き物です。

付き合う人が変わる。

ということは周りの環境が変わるということです。  
そうなればその影響を受けて、価値観や性格すら変わります。

本当に稼ぎたいのであれば、稼いでいる人たちの中に  
身を置くことは大正解です。

稼いでいる人は少なからず『稼ぎやすい性格や環境』を  
持っているはずなので、周りをそういう人間で固めると  
自然と環境が『稼ぎやすい環境』に変わります。

当然、その影響を受けて自分自身も付き合っている人のような  
マインドセットに様変わりしていくと。

当然の流れですよね。

だから、ビジネス本ではみんなが口を揃えて  
『稼いでいる人と付き合って、そうでない人とは縁を切ろう』  
と記されているのです。

とても正論ですし、ビジネス本の目的としては間違っていない。  
でも、人生としてはそれが正解でしょうか？

僕は、必ずしもそれが正解だとは思いません。

僕自身の話だと、付き合いのある友人としては  
当然ビジネス関連で知り合っ稼いでいる人もいますし  
中学のときの同級生もいます。  
ニートで未だに親のすねかじって生きているやつもいます。

でも、それぞれに『相手を好き』という感情がありますので  
それを選別して、効率良く人付き合いをしたいとは思いません。

当然、ビジネスの観点から見ると非常に不効率です。  
できれば周りを自分よりも稼いでいる人で固めた方が  
危機感も出てきますので、今よりも成長できるでしょう。

でも、それが何になるというのでしょうか。

その先にあるものに、僕は興味がありません。

ビジネス書では稼ぐ方法論は教えてくれるけど  
幸せになる方法は教えてくれません。

当然、稼いでいる人の方が精神的に余裕があって  
マインドも成熟している人が多いですから  
統計的に見たら周りがそういう人たちの方が

幸せになる確率が高いかもしれませんが。  
しかし、あくまで統計です。  
統計は非常に優れた学問ですが  
残念ながら正解を導きだすことはできません。

近似値を算出するのに留まります。

**正解はいつも自分自身の中に存在します。**

人間関係というものをしっかりと理解して  
その上で『自分が構築したい人間関係』を  
模索していくことが一番重要です。

○○ちゃんとは遊んじゃダメよ。

と周りの言うことを聞くのは  
せいぜい中学生までです。

その先はすべて自分の判断で考えていかなければいけません。

その上で、どうしても良くない人間関係は  
すっぱりと切るべきですし、  
理想の環境にするための努力も必要です。

人間関係は人生そのものかもしれません。

自分の人生はビジネス書ではなく自分で決めるものです。



・人間関係を良好に保つためには

人間関係の基本的な考えを身に付けたら  
今度は人間関係自体を円滑に運ぶことが重要になります。

できれば、相手には好かれた方が良く、  
そこにストレスは感じたくないですね。

コミュニケーション能力は練習することで  
身に付きます。

たとえ今はそんなにうまくできなくても  
じっくり育てていけば必ず身に付きます。

**コミュニケーションは才能ではありません。**

そんな人間関係をできるだけ円滑に運べるような  
スキルや方法に関して少しご紹介しようと思います。

**一番の鉄則としては、求める人間にならないということです。**

なにも価値を提供していないのに、  
相手に価値を求める人間ほど嫌われる人間はいません。

相手からすればそこに『友情』は感じられず  
ただ単に利己的な関係で自分に言い寄ってきているとしか思えません。

相手に何かを求めるときは、まず自分が与えなければいけません。

それができた上で、ですが、  
『与える割合が多い人間』になりましょう。

別に相手からの見返りがなくても、  
与えられるものはどんどん与えましょう。

もしかしたら損をすると思ってしまうかもしれませんが、  
が、はっきり言って損はしません。

与える側の人間になること、周りからそう認識されることの  
メリットは計り知れないからです。

短絡的に考えると、与えられることが多い方が  
得するよう思うかもしれませんが。

しかし、それは全くの逆です。

世の中は目に見えない信頼関係で成り立っていますので  
与えられてばかりの人は、最終的には居場所がなくなります。

居場所がなくなってしまうえば、もうゲームオーバーです。

まずは与える人間になりましょう。  
方法は簡単です。

相手が喜ぶようなことを進んで行えば良いんです。

たったそれだけの頑張りで、人間関係は  
驚くほど良好に回りだします。  
北野武さんが何かで話していた印象的な言葉があります。

親友に対しての言葉なのですが、  
これがすごく本質をついています。

**『お前が困ったときは、俺がいつでも助ける。  
だけど俺が困ったときは、絶対にお前の前には現れない』**

お互いがこの『与える精神』でいられる関係こそが  
本当の友情じゃないでしょうか。

人間関係というものは本当に厄介なものです。  
ここにストレスを感じていない人は、ほとんどいないんじゃないでしょう  
か。

どうしても、うまくいかない人はいるものです。  
どんなにこちらが頑張っても仲良くなるうとしても  
一向にプラスの方向に進んでくれない。

こういうストレスって多いですね。

でも、そこに時間と労力をかけるのは  
もしかしたら間違っているかもしれません。

「どうにかして有効な関係をつくろう」

という行動は、『相手をコントロールしよう』と  
考えているのと同じ意味合いです。

ご察しのとおり、そんな簡単に人間の感情を  
コントロールできるはずもなく、  
それ自体がおこがましいとも言えます。

**どうしても、関係がうまくいかない場合は  
いっそのこと、うまくいなくていいのではないのでしょうか？**

そもそも、仲良くする必要なんてなく、  
それこそ自分の人間関係から消してしまえば良いのです。

当然、仕事関係での付き合いがあったり  
ご近所での付き合いがあったりするかもしれません。

でも、果たしてそれでも、それは本当に必要な関係でしょうか。  
仮に本当に必要な関係だとしたら、相手もそう感じるはずです。

お互いが歩み寄ろうと協力すれば  
うまくいかない人間関係など、ほぼありません。

でも、そうなっていないのであれば、  
自分がいくら頑張ってもうまくいかないのであれば

それは相手が協力していないということに他なりません。

つまり『別にどうでもいい』と思っているということです。

そんな関係であれば、それこそ終わりにして良いのではないのでしょうか。  
それを無理矢理続けるストレスや苦しみと  
それをすっぱりと終わらせてしまったときの失うものと  
どちらが大きいのでしょうか。

多くの場合は後者を選んだ方が良いはずです。

うまくいかない人、または嫌いな人。

こういう状態の人間と無理矢理付き合う必要は  
ほとんどありません。

そこに力を使うぐらいだったら、  
もっと大事な人にその時間も労力も使ってあげた方が  
圧倒的に素敵だと思います。

コミュニケーションは国によってそのやり方が違います。

欧米と日本では人間性が全く違いますので  
それによってコミュニケーションの取り方も  
大きく変わることになります。

日本人には『空気を読む』という特異な能力があります。  
この能力は本当に素晴らしく、日本が世界に誇れる文化だと思います。

ですが、それが裏目に出ることもあります。  
言うべきことも空気を読んで言わない。  
そんなことって良くありますよね。

何かを言うことで、その場の空気が壊れてしまう。  
何かを言うことで、積み重ねた関係が壊れてしまう。

だから、何も言わずにその場をやりきる。  
僕も、そういうところ、あります。

でも、これは結構はっきりと言えます。

### 『言いたいことは言った方が良い』

もしかしたら、それによって場の空気が悪くなるかも。  
もしかしたら、人間関係が悪くなるかも。

もしかしたら、じゃなくてそうなります。  
空気を読む能力は日本人の得意能力ですから  
恐らく読んでいたとおりにことは運びます。  
つまり、何かが壊れます。

しかし、それを踏まえた上でも、  
言いたいことは言った方が良いです。

一旦、空気が悪くなっても、それを言ったことで  
その後、いい結果になることの方が圧倒的に多いです。

それは相手のためにもなりますし、  
何よりも自分のためにもなります。

中にはそれで壊れてしまう関係もあるかもしれませんが。  
でも、それはそれです。

恐らくその程度であれば、いずれどこかで壊れます。

それが早くなっただけです。

言いたいことを言わない関係は本当の友情ではありません。  
上っ面のあんまり意味のない関係に何の価値もありません。

ですから、言いたいことはぜひ言きましょう。  
最初は怖いかもしれませんが、何度かそうしていると  
その方が良いことが経験として理解できると思います。

そうして残った人間関係は、本当に素晴らしいものです。

人間関係を良好に運ぶ鉄則は『与えること』だと解説しました。  
大事なのはその与え方ですが、これも簡単です。

相手を自分だと思って接すれば良いだけです。

これをしたら自分だったらどう思うか。  
自分だったらこうして欲しいな。

これをそのまま行動に反映させれば良いんです。  
それは独りよがりとは違います。

独りよがりとは、自分自身がして欲しいことを相手に求めることで  
恐らく自分がされたら嫌なことを相手にしている状態です。

そうではなくて、自分がされて嬉しいことを相手にする。  
この繰り返しで、人間関係はしっかりと構築されます。

コミュニケーションが苦手な人はそこができていません。  
でも、よく考えれば簡単なことですよね。

まずは、相手のために何かを与える。  
これはモノをあげるとかだけでなく、行動を含めてです。  
与えることは自分にとってプラスになると理解する。  
苦手な人、嫌いな人とは無理に関係を作らない。  
言いたいことを言うのも与えることだと理解する。  
相手は自分だと思って考える。



これらのことが自然に行えれば、  
どう考えても人間関係に困ることはなくなります。

最初は難しいかもしれませんが、これも慣れです。

最初は意識しながらやってみてください。  
ちょっと大変かもしれませんが。  
しばらくすると、意識しなくてもできるようになります。  
そうするといつのまにか、

『なんか最近ストレスが少ないなあ』

と思えるようになっていくはずです。

本当は、もっと別のところに時間をかけるべきなのに  
人間関係に無駄に時間を削っている人が多いです。

まずはしっかりと周りを固めて、  
そうすれば多くのことに集中できるようになります。

当然、良い影響が色んなところで現れますよね。

・他人との付き合い方

人間関係に関するマインドの最後のポイントは

**『他人に影響されないようにしよう』**

です。

他人は、あなたの思っているほどあなたを意識していません。  
あなたが他人からの視線を100感じているとしたら  
実際は、恐らく10ぐらいしか意識されていません。

ですから、他人の目を気にして行った行動の  
9割は気付いてもらえないと思ってください。

日本人は特にそうですが、  
9割も無駄になってしまう行為に時間を割く人が  
非常に多いです。

はっきり言って、これは大きな時間的損失です。

もっと、大事にしなくてはいけない部分があるはずで  
それは仕事かもしれないし、大事な人かもしれない。

本来はそこに100の労力をかけるべきです。  
そうすれば、ロスなく力が伝わります。

あんまり意味のないことに100の力をかけて  
あんまり関係のない人に10分かってもらうのと

大事なことに100の力をかけて  
そのまま100の力をそれに伝えるのでは

比べるまでもないほどに価値が違います。

**ですので、まずは他人の目を無視しましょう。**

当然、完璧に無視すると場合によっては  
犯罪者になってしまいますので（笑）  
最低限のルールは守りましょう。

ルールを守った上で、自分の意志を尊重しましょう。  
そこに他人は関係ありません。

そうすることによって、問題が生じる人間関係があるのなら  
それはもともとうまくいかない人間関係であることが多いです。  
無理をして、それを継続する必要はほとんどありません。

そうして作り上げた人間関係は  
恐らくとても気持ちのいいものでしょうし  
あなたを最大限に成長させてくれるものです。

人間関係のマインドについて書いてきましたが  
もしかしたら各マインドの中で、  
一番難しいジャンルかも知れません。

なぜかと言うと、相手が人間だからですね。

内面を変えるだけで済むマインドは比較的簡単にシフトできますが、人間関係の場合はそこに相手の内面も入ってきます。そのため非常に難しいのです。

ですが、その分、変えられたときには一番効果があるマインドなのかもしれません。

冒頭にお伝えしたとおり、人間関係なくしては、人間は存在できないので一生付き合っていくものですからね。

1年じゃあ変わらないかもしれません。

ですが、変えようと思わなければ一生変わりません。

少しずつで良いので、毎日意識をしてじっくりと作り上げていきましょう。

死ぬときに、素敵な人間関係の中で死ねたらそれは多分幸せなんだと思います。

(死んだことないので分かりませんが)

## ■マインドに関するマインド

- ・マインドをどう身に付けるか

さて、色々なマインドについて解説してきましたが最後の項目は『マインドに関するマインド』です。

人生において、仕事においてマインドは非常に重要なものですがマインドばかりを意識すると頭でっかちになってしまいます。

マインドというものは心の根本に根付いているもので表面上でちょろちょろしているものではありません。

ですので、それ自体を変えることは難しいですししっかりと身に付けば、一生自分を助けてくれます。

ちょうど、自転車に数年乗っていなくても乗り方を忘れないのと同じですね。

ですから、マインドを理解するためにマインドに関するマインドが絶対に必要になるのです。

ということで、マインドについて解説します。

まず、マインドの身に付け方です。

先ほども書いたとおり、マインドとは根本に根付いたもので表層のものではない。というところを理解してください。

ですので、何かのセミナーに行ったときに

「いやあ！今日のセミナーでマインド変わりましたよー！！」

なんてことはまずあり得ないのです。

そんな簡単にマインドが変わるのであれば  
コーチングなんてものは必要なくなって  
本だけあれば十分になってしまいます。

当然、セミナーなどで新しい価値観に触れば  
そのときは何かが変わった気がします。  
でも想像してみてください。  
一週間後には元の生活に戻っていますよね。  
要はなににも変わっていないのです。

マインドは頭で理解しても意味がありません。  
頭で理解することは簡単ですが、  
それだけでは、全くもって意味がありません。

しかし、まずは理解しないと何も始まりません。  
ですので、まずは頭で理解しましょう。  
理解できないなら、できるまで考えてみましょう。  
そして、しっかりと咀嚼して自分の中に吸収してください。

その上でそれを意識し続けてください。

そうすることにより、頭で理解していたマインドが  
少しずつ体で覚えるようになっていきます。

意識を続けることによって、さまざまな経験をします。  
その経験を続けるということは、トライエラーを繰り返すことと同義です。

それによって、表層上に漂っていたマインドの概念が  
ゆっくりと本当の自分の根本に根付いていくんです。

時間はかかりますが、これ以外に方法はありません。

ですので、もし本書を読んでいただき、  
『いい感じの考えだなあ』と共感いただいたのであれば  
定期的に読み返すようにしてください。

きっと読むタイミングによって感じ方が違うと思います。

・マインドはまねるものではない

今回解説したさまざまなマインドは、冒頭にもお伝えしたとおりあくまでも僕の考えであり、偏見です。

恐らく全く響かなかった人もいるでしょうし  
すごく腑に落ちた人もいるかもしれません。

僕がここまで生きてきて、起業を経験して  
どん底とある程度の成功を経験して  
さらにたくさんの人の話を聞き続けて  
今のところたどり着いている答えみたいなものです。

僕は多分、他の情報発信者より相手の話を良く聞いています。  
それは、その人の感情や性格、それこそマインドを理解することが  
ビジネスの成果をあげるためのコンサルには必要だと思っているからです。

そのため、かなりのデータがそろっています。  
しかも生の声です。

そんな中で作り上げてきた『答えみたいなもの』ですので  
精度はなかなか高いと思っています。

ですが、正解ではありません。

**正解はないからです。**



本来、人はそれぞれに微妙に違うマインドを持って生きています。  
これはその人それぞれの人生経験があるからです。  
それに生きている場所、時代によっても全くマインドは変わります。

ですから、他人のマインドを鵜呑みにしてそのまま自分に当てはめるのは  
とても危険ですし。あまり意味がありません。

自分のマインドを他人に押し付けるのも非常に危険です。

ですので、ここで解説したさまざまなマインドに関することは  
あくまでも参考として心にしまっていていただき、  
それらをもとに、ご自身なりのマインドを作り上げていただきたいです。

マインドとは自分自身の『芯』みたいなものです。  
意識して、そして長い期間をかけて作り上げた『芯』は  
ブレないし、折れません。

しっかりとした『芯』を持った人は魅力的です。  
周りに人が集まってきます。

周りを幸せにすることもできるし  
それによって自分も幸せになれます。

『幸せに生きるためのマインド論』というテーマでここまで解説しましたが  
幸せになるためには『マインドを豊かにする』ことが重要だということ  
です。

僕も、これからもっともっと豊かなマインドを身に付けられるよう  
一生懸命努力していきたいと思います。

そのためには、よく働き、よく話し、よく考えることが必要です。  
つまり、一生懸命生きるということです。

**一生懸命、生きましょう。**

■販売者情報

販売者名 株式会社TotalLeading

住所 〒197-0023  
東京都福生市志茂33-1 フェアビューヴィラ101

電話番号 042-513-0478

mail [mail@yunyuuyunyuu.com](mailto:mail@yunyuuyunyuu.com)